

浄化川田芦

家庭の努力数値評価

福山市などサイト開設へ

福山市や地元企業などをつくる「芦田川環境マネジメントセンター」は11月1～30日、ゲーム感覚で芦田川流域への家庭排水の浄化に励むことができる携帯電話・パソコンのインターネットサイトを開設する。登録者が浄化の取り組みを入力すると、水質改善の効果やそれに伴うポイント、順位を表示する。

サイト開設は同センター、市、国土交通省福山河川国道事務所が2007年度に始めた社会実験「芦田川きれい☆きれいプロジェクト」の一環。流域住民を対象に、11月の市広報紙に掲載するQRコードや同センターのホームページ(HP)から無料で登録を募る。登録者は、食器汚れは拭き取る▽油を流さない▽食器洗いに使う洗剤を減らす▽など5つの取り組みを実践。達成具合を1週間ごとに各段階で入力すると、水の汚れの指標となる生物化学的酸素要求量(BOD)などの削減率が表示される。開設中は入力のために削減ポイントが加算され、登録者中の順位が分かる。11月中旬に流域の水質を測定して

効果を検証。来年度以降のサイト開設も検討する。同センターの田中宏行会長は「楽しみながら浄化に努めてもらい、水質を改善したい」と話している。

(水川恭輔)